

# 平成二十年度農業委員活動 事業計画が決定しました

## 一 業務方針

「農業委員会の必置規制」の見直しや「農地政策の改革に向けた展開方向」が今後具体化していくとされています。

農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増大、輸入農産物の増加、農産物の価格低迷、食の安全・安心の確保など、多くの課題があります。

本委員会は、地域の農業・農業者の実情を把握し、農業者の「公的代表組織である農業委員会」として、関係機関・団体との連携を一層深め、激動する経済動向の変化に注視し、農業・農村の発展に向けた活動を積極的に取り組んでいきます。

## 二 事業内容

### (1) 法定の事業

(2) 農政活動の事業  
農業者との交流や懇談を行い、実情を把握して農政活動を行います。  
・ 関係官庁、関係団体と



転用予定地の現地確認

- ・ 農地相談の実施
- ・ 農地パトロールの実施
- ・ 農地法の申請箇所等の現地調査
- ・ 農地等利用関係の調整
- ・ 農業経営基盤強化促進法に基づく農地流動化の推進
- ・ 耕作放棄地の調査、利用増進の指導他

### の連携強化

- ・ 建議、答申
- ・ 市長との懇談会の開催
- ・ 農業協同組合、農村女性協議会等との懇談会
- ・ 近隣農業委員会との交流会の実施
- ・ 農業委員研修の実施

### (3) 農業構造政策推進について

安定的な農業経営体を育成するとともに、地域の実態に即した農業生産体制の整備に努めます。

- ・ 認定農業者の育成、組織づくり
- ・ 農業支援センター活動の支援

### (4) 農地の有効利用の推進

農業上重要な地域を中心とした耕作放棄地ゼロを目指して方策を推進していきます。

### (5) 後継者対策について

行政、農業協同組合と連携し後継者対策の具体的取り組みを進めます。

### (6) 情報活動の推進

- ・ 農業委員会だよりの発行 2 回
- ・ 「広報まつもと」による特集 1 回
- ・ 全国農業新聞の普及

### (7) 農業者年金業務の推進

農業担い手の老後のゆとりに。ピットタリの農業者年金の普及、加入推進に努めます。

- ・ 認定農業者の育成、家族経営協定制度推進に合わせた加入推進
- ・ 合併地区の年金協議会組織再編の促進



中学生摘果作業

### 選任農業委員のご紹介



青木泰十郎 委員  
(農地部会)

梓川改良区推薦により  
5月23日付で選任されました。



倉科則人 委員  
(農地部会)

J A 松本ハイランド推薦により  
6月23日付で再任されました。



犬飼公紀 委員  
(農業振興部会)

中信農業共済組合推薦により  
6月23日付で再任されました。



島田貴美子 委員  
(農業振興部会)

市議会推薦により  
6月23日付で選任されました。

### ◇ 退任された農業委員

長谷川 牧子氏 (農地部会)

矢島 牧子氏 (農振部会)

本市の農業振興にご尽力いただき、ありがとうございました。